三ツ星ベルト株式会社

2027年3月期 第2四半期(中間期)
決算説明資料

2026年11月9日

将来情報についての注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

決算のポイントと 今後の見通し

01. 中間期として、
売上高、営業利益、経常利益、中間純利益の全てで、**過去最高値を更新。**※

販売価格の適正化 および 製品ミックスの改善等 が奏功し、
営業利益は想定を上回る水準。

02. **これらを踏まえ、通期の業績予想を再度上方修正。**

中間期業績

- ✓ 国内外ともに増収となり、特に海外ベルト事業が好調。為替影響を除いても+7.2%の成長。
- ✓ 営業利益は、第1四半期、第2四半期ともに30億円を超え、これまでの業績を1段上回る水準。

今後の見通し

- ✓ 8月7日発表の上方修正から再度、通期業績予想を上方修正。
- ✓ 営業利益は、当社として初めて100億円の大台を突破できる見通し。
- ✓ 通期としても、売上高、営業利益、経常利益、純利益の全てで、過去最高値更新を見込む。※

※ 2006年の化成品事業売却以降における最高値。

通期業績予想の上方修正

通期の業績予想を再上方修正（①2026年8月7日、②2026年11月9日 開示）

- 販売価格の適正化、製品ミックスの改善などにより、利益成長が想定を上回り伸長。
- 想定為替レートは、下期：150JPY/USD、通期：155JPY/USDを据え置き。

（単位：百万円）

項目	（ご参考）2025年度実績	期初開示値	2026/8/7 業績予想の修正	2026/11/9 業績予想の修正	増減	増減
	通期	通期	通期	通期	対 8/7	対2025年度実績比
売上高	92,298	95,000	97,000	**98,000**	+1,000 +1.0%	+5,702 +6.2%
営業利益 **（率）**	8,678 (9.4%)	8,800 (9.3%)	9,900 (10.2%)	**11,300** **(11.5%)**	+1,400 +1.3pt	+2,622 +2.1pt
経常利益 **（率）**	10,178 (11.0%)	8,700 (9.2%)	9,800 (10.1%)	**11,800** **(12.0%)**	+2,000 +1.9pt	+1,622 +1.0pt
親会社株主に帰属する当期純利益	7,392 (8.0%)	9,000 (9.5%)	9,800 (10.1%)	**11,500** **(11.7%)**	+1,700 +1.6pt	+4,108 +3.7pt
為替レート（JPY/USD）	150.8	150	155	**155** ※		

※ 上期：159.37／下期：150／通期：155

第2四半期(中間期) 連結業績

大幅な増収・増益

- 2006年 化成品事業売却後、3期連続で過去最高の売上高を計上
- 2026年度上期：政策保有株式売却による特別利益 約19億円

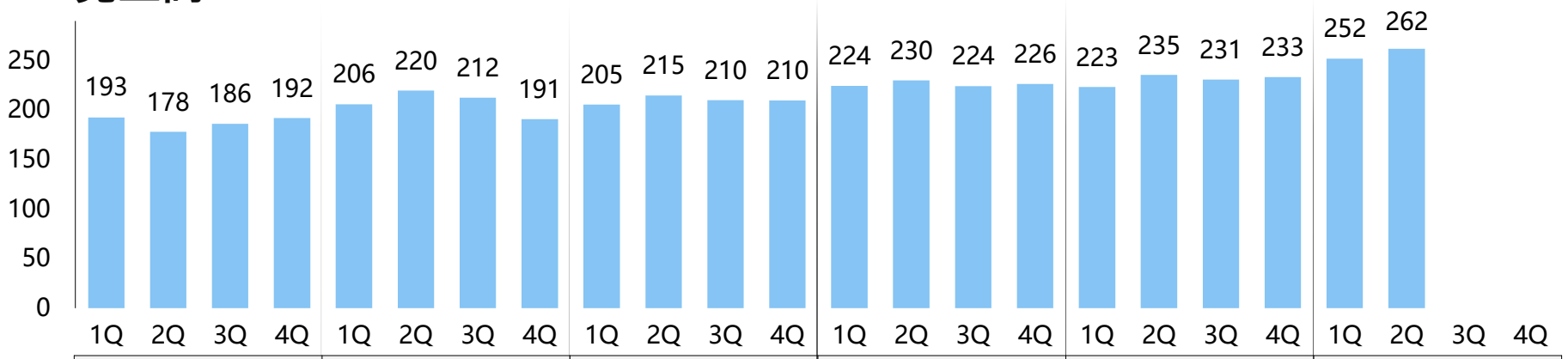
(単位：百万円)

	2025年度						2026年度		前年同期比較	
	上期	比率	下期	比率	通期	比率	上期	比率	差異	増減率
売上高	45,868	-	46,430	-	92,298	-	51,389	-	+5,521	+12.0%
営業利益	4,597	10.0%	4,081	8.8%	8,678	9.4%	6,667	13.0%	+2,070	+45.0%
経常利益	5,075	11.1%	5,103	11.0%	10,178	11.0%	7,142	13.9%	+2,067	+40.7%
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益	3,870	8.4%	3,522	7.6%	7,392	8.0%	6,410	12.5%	+2,540	+65.6%

四半期業績推移

（単位：億円）

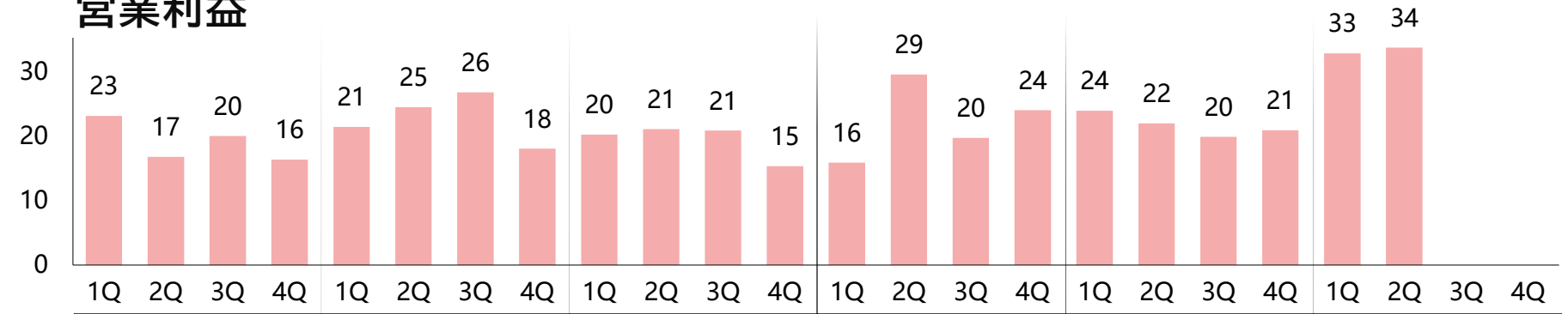
売上高



2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
749	829	840	905	922	514(上期)

（単位：億円）

営業利益



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
営業利益率	10.2%	10.9%	9.2%	9.9%	9.4%	13.0%(上期)

セグメント別売上高（前年同期比）

主力のベルト事業は増加、建設資材が減少

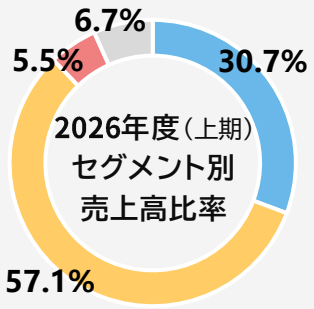
・主力のベルト事業は国内外とも好調に推移

・建設資材 …　建築部門　中東情勢の影響による他社での資材不足に伴う工事遅延や施工現場における人手不足の影響を受け、売上高が減少

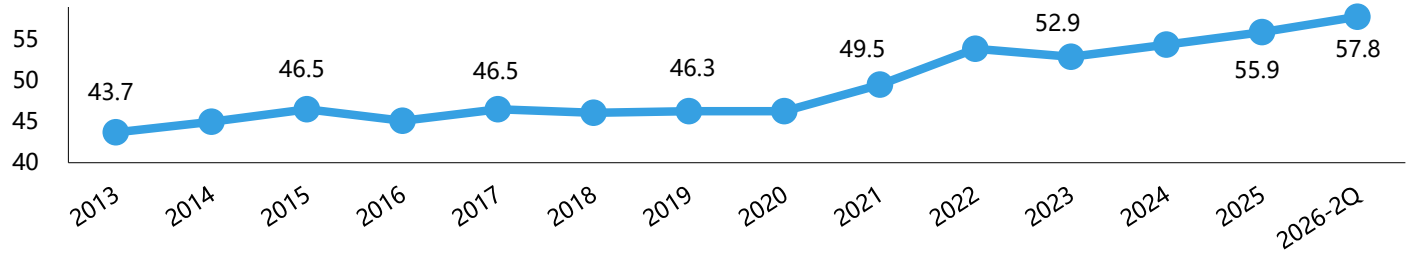
土木部門　前年同期に比べ、大型工事物件減少

（単位：百万円）

		2025年度						2026年度		前年同期比較	
		上期	比率	下期	比率	通期	比率	上期	比率	差異	増減率
セグメント別	国内ベルト	14,744	32.1%	14,231	30.7%	28,975	31.4%	**15,757**	**30.7%**	+1,013	+6.9%
	海外ベルト	24,701	53.9%	26,086	56.2%	50,787	55.0%	**29,323**	**57.1%**	+4,622	+18.7%
	建設資材	3,424	7.5%	3,345	7.2%	6,769	7.3%	**2,837**	**5.5%**	△587	△17.1%
	その他	2,998	6.5%	2,767	6.0%	5,765	6.2%	**3,471**	**6.8%**	+473	+15.8%
		45,868	100%	46,430	100.0%	92,298	100%	**51,389**	**100%**	+5,521	+12.0%
海外売上高		25,045	54.6%	26,536	57.2%	51,581	55.9%	**29,720**	**57.8%**	+4,675	+18.7%



海外売上高比率の推移



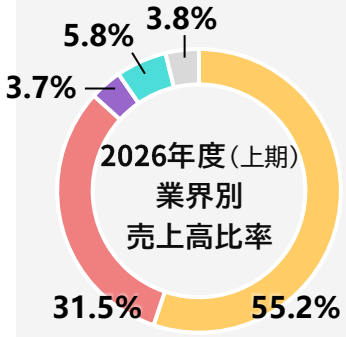
ベルト事業、業界別売上高の内訳（前年同期比）

自動車部品分野、伝動ベルトが好調。

- 自動車部品　二輪車・多用途四輪車用変速ベルトが好調
  四輪車向け電動ユニット駆動用ベルトや、電動二輪車向け後輪駆動用ベルトなどが堅調
- 伝動ベルト　国内…農業機械向けの需要拡大。半導体関連のロボットや射出成形機向けの需要が堅調
  海外…中国を含むアジア地域におけるVベルト、タイミングベルトの販売増加が寄与

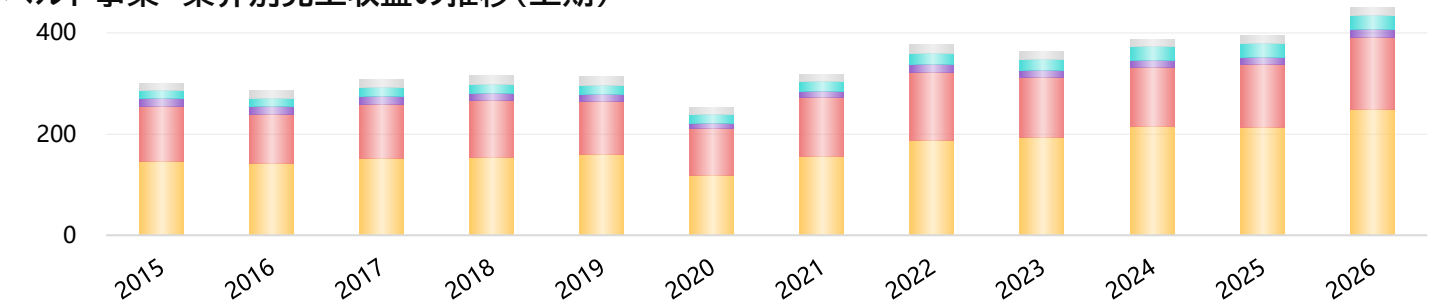
（単位：百万円）

		2025年度						2026年度		前年同期比較	
		上期	比率	下期	比率	通期	比率	上期	比率	差異	増減率
自動車部品分野		21,385	54.2%	22,373	55.5%	43,758	54.9%	**24,895**	**55.2%**	+3,510	+16.4%
産業機械分野	伝動ベルト	12,367	31.4%	12,288	30.5%	24,655	30.9%	**14,200**	**31.5%**	+1,833	+14.8%
	OA機器用	1,441	3.7%	1,464	3.6%	2,905	3.6%	**1,672**	**3.7%**	+231	+16.0%
	搬送ベルト	2,766	7.0%	2,688	6.7%	5,454	6.8%	**2,635**	**5.8%**	△131	△4.7%
	合成樹脂素材	1,486	3.8%	1,505	3.7%	2,991	3.7%	**1,678**	**3.7%**	+192	+12.9%
	ベルト計	39,445	100%	40,318	100%	79,763	100%	**45,080**	**100%**	+5,635	+14.3%





ベルト事業　業界別売上収益の推移（上期）

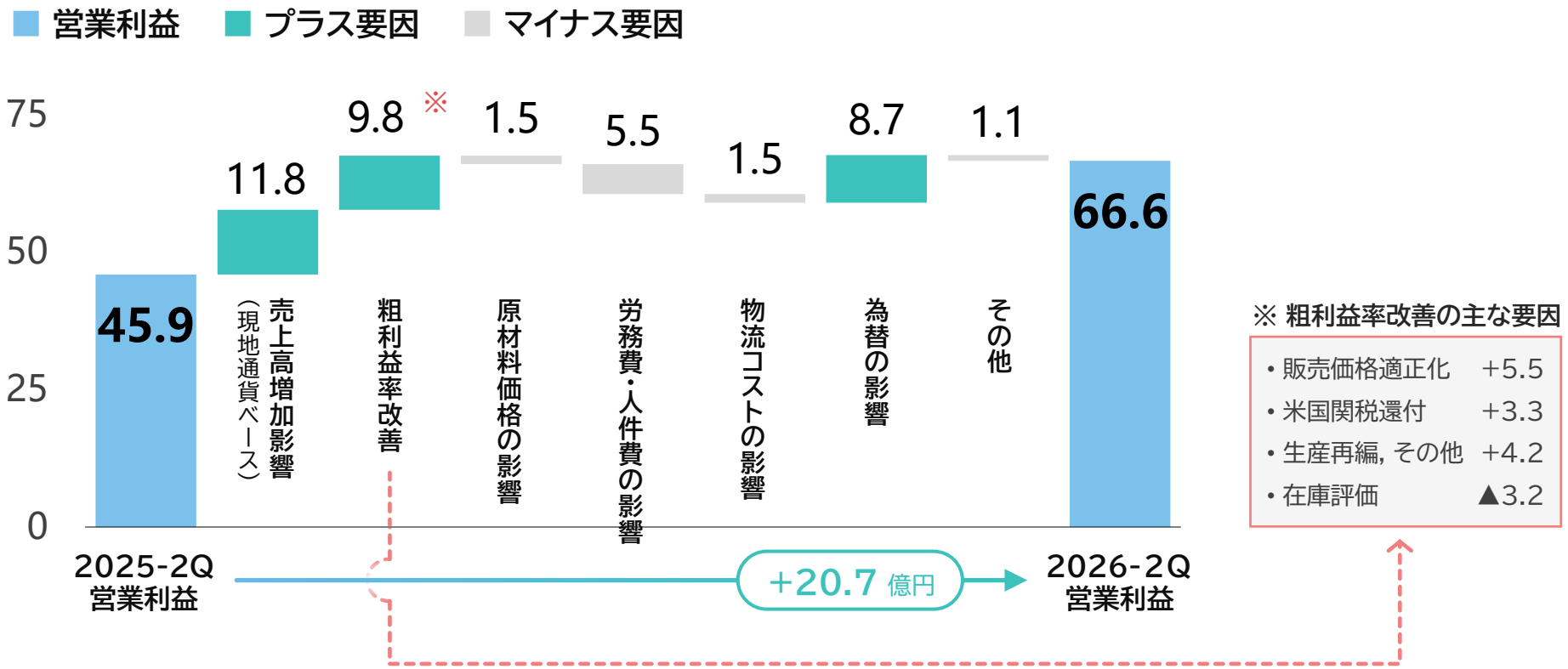


営業利益の変動要因

- 売上高増加に加え、販売価格の適正化などのプラス要因により、大幅な利益増を達成。
- 生産・物流再編の効果も利益増に寄与。

（単位：億円）

	2025-2Q	2026-2Q	差異
売上高	458.6	513.8	+55.2
営業利益	45.9	66.6	+20.7
経常利益	50.7	71.4	+20.7



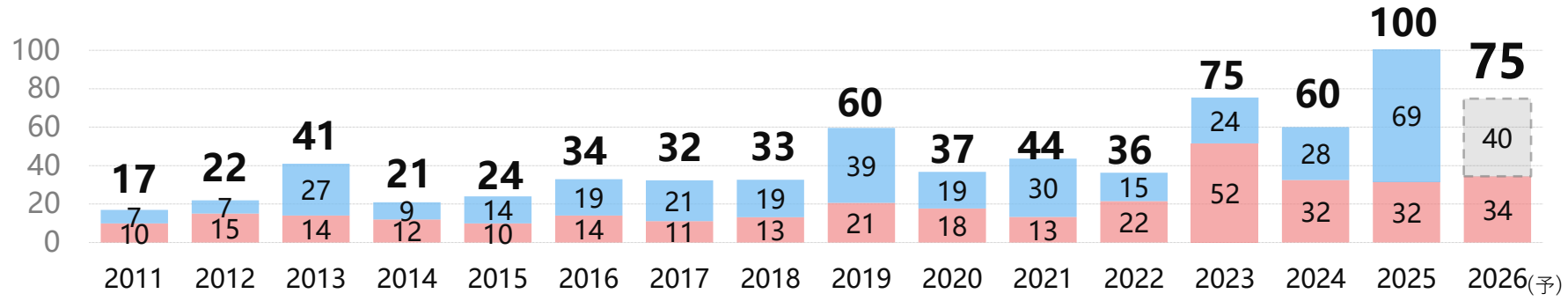
設備投資と減価償却費

国内外の製造設備の増設・移設、既存設備の更新

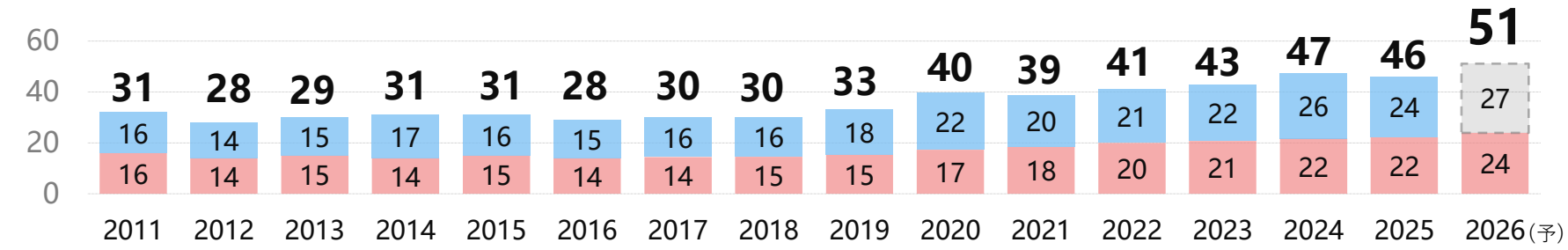
- ’24中期経営計画における3年間(2024年度～2026年度)の設備投資枠：200億円
- 2026年度の計画承認額は、約61億円（2026年9月末時点）

■ 上期 ■ 下期　（金額は資産計上ベース／単位：億円）

設備投資



減価償却費

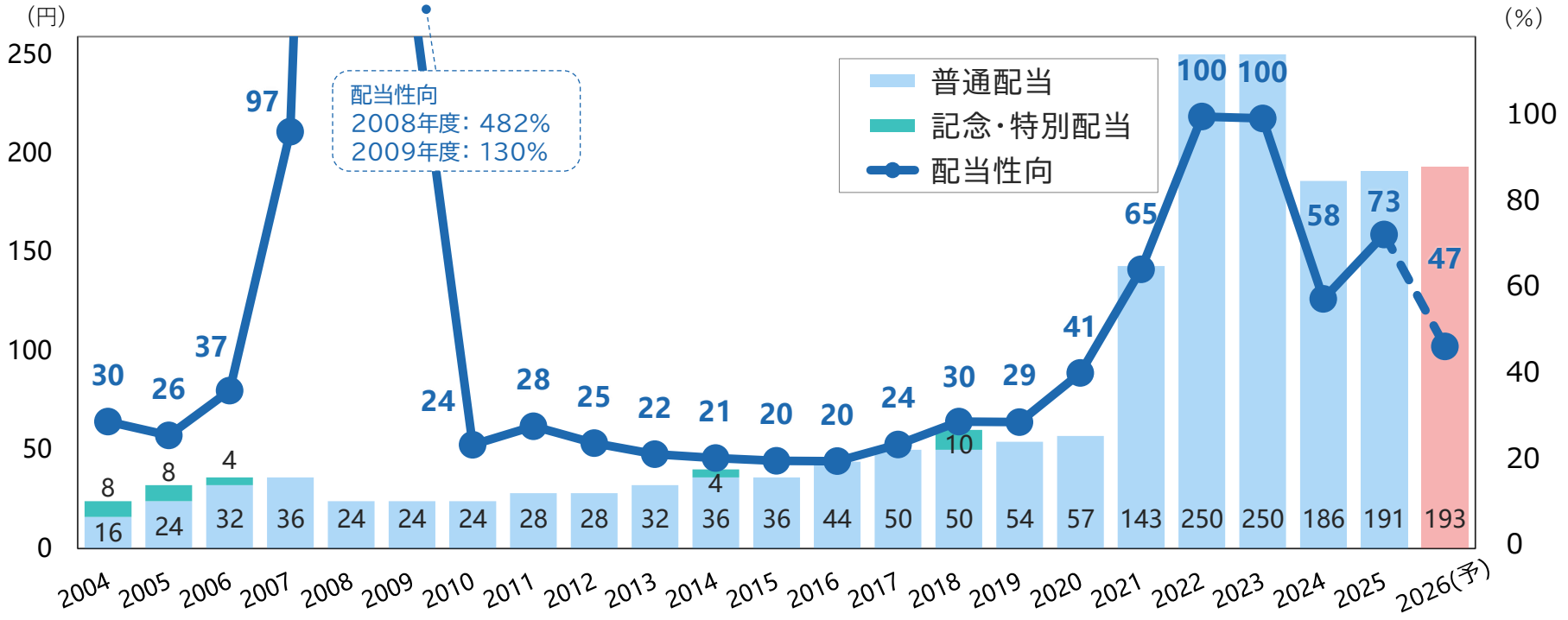


株主還元

2026年度
中間92円、期末101円（予想）

「'24中期経営計画」（2024年度～2026年度）において、
「持続的かつ安定的な配当」を目指し、DOE（純資産配当率）
の目安：5.4%程度（1株当たり配当金：180円/年 以上）

	中間	期末	合計
2025年度	90円	101円	191円
2026年度	92円		
2026年度（予想）		101円	193円



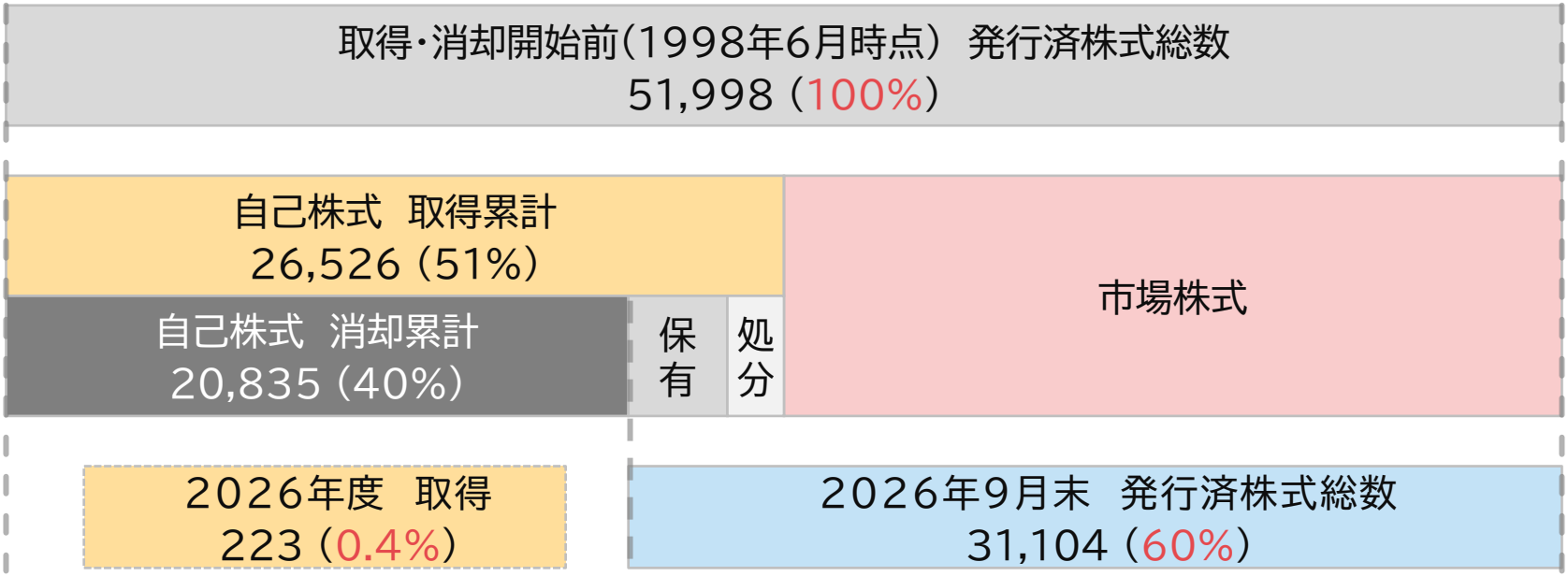
※ 2018年10月1日付の株式併合（2株→1株）に伴い、配当金は併合後の基準で換算しています。

自己株式の取得と消却

自己株式の取得を継続的に実施（取得累計:約51%、消却累計:約40%）

- 「'24中期経営計画」に基づき、目標通り3年間で30億円の自己株式取得を実施
- 2026年度の自己株式取得：約10億円（223,200株）

（単位:千株）



（単元未満株式の取得・消却を除く）

（2018年10月1日付けで、普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っており、当該株式併合後の基準で換算した数値を記載）

APPENDIX

技術資産を、次の成長へ。

社会の構造変化に応える高付加価値製品で、
収益性と企業価値の向上を実現します。

その他の高付加価値製品群（一例）

ベルト事業の他にも、培った材料技術・加工技術を活かし、外部環境の変化を追い風に、新たな成長機会を着実に取り込んでいます。

① 電動化対応製品

EV・電動モビリティの進化を支える



EV化の進展に伴い、車載部品には、従来以上に高い静粛性、低振動、軽量性、高耐久・長寿命が求められています。当社は、長年培ってきた材料技術、製品設計技術、評価・分析技術を強みに、こうした市場ニーズに応える高付加価値製品を開発し、電動モビリティ分野で採用実績を着実に拡大しています。

主な採用事例



EPS駆動用タイミングベルト
（四輪車向け）



PSD駆動用タイミングベルト
（四輪車向け）



後輪駆動用タイミングベルト
（電動二輪車向け）

② 環境貢献型製品

脱炭素社会の実現を支える



シリーズ最上位の省エネ性能
e-POWER® NX
（産業機械向け）

脱炭素化の進展に伴い、省エネルギー化やCO_2排出量削減に貢献する製品への需要が拡大しています。当社は、材料技術と製品設計技術を活かし、高効率な動力伝達を実現する環境貢献型製品を展開しています。環境価値と経済価値を両立する製品開発を通じて、持続的な成長市場への展開を加速しています。

③ 半導体・エレクトロニクス製品

デジタル社会の進化を支える

次世代半導体市場の拡大を成長機会と捉え、独自の配合・分散技術やペースト加工技術を活かした電子材料製品の展開を加速しています。お客さまとの共同開発から量産化まで一貫して支援することで、AI・データセンターをはじめとする高付加価値分野での事業拡大を進めています。



優れた導電性、密着性、耐久性を有する
三ツ星ベルトの焼成型ペースト

統合報告書2026 を発行

ベルトが持つ“伝える”力に加え、価値創造の道筋を“伝える”力の強化にも取り組んでいます。



2026年度版レポートのポイント

2026年度版レポートでは、企業価値の算定式を一つのフレームワークとして位置付け、レポート全体の構成を見直しました。財務・非財務の両側面から、収益力、資本効率、将来成長に向けた取り組みを相互に関連づけながら整理することで、当社の企業価値創造ストーリーを、より体系的にご理解いただける構成を目指しました。

企業価値の向上 ＝ （創出価値の拡大 ／ 資本コストの低減 － 成長率の向上）



主なコンテンツ

- TOP MESSAGE
- 財務部担当役員メッセージ
- 価値創造プロセス、培ってきた3つの強み
- 特集　～「三ツ星ベルトが考える技術力とは？」
- 人財戦略
- 社外取締役インタビュー



ダウンロードURL：
https://www.mitsuboshi.com/dcms_media/other/integrated_report2026.pdf

Sponsored Research

Shared Research
（スポンサードリサーチレポート）

当社に対するご理解をより深めていただくことを目的としてスポンサードリサーチレポートを発行しています。



ダウンロードURL：
https://sharedresearch.jp/ja/companies/5192

IRに関するお問い合わせ先：
コーポレートコミュニケーション本部　IR企画室
https://www.mitsuboshi.com/inquiry/form_ir/

コーポレートサイト － IR情報
https://www.mitsuboshi.com/stockholder/